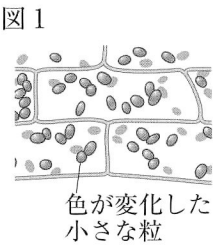


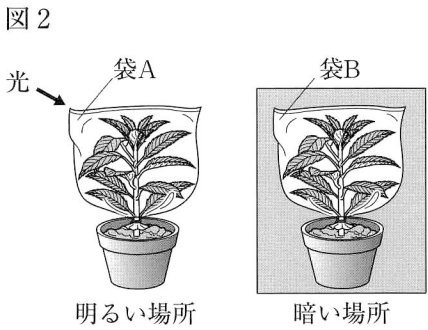
1 植物の葉のはたらきを調べる実験を行いました。これについて、あとの問いに答えなさい。

〔実験 1〕十分に光を当てたオオカナダモの葉をとり、熱湯で温めたエタノールにつけて、葉の緑色を脱色した。この葉を水洗いしてスライドガラスにのせ、ヨウ素液を加えて、プレパラートをつくった。このプレパラートを顕微鏡で観察すると、図 1 のように、葉の細胞にはヨウ素液によって色が変わった小さな粒が多く見られた。



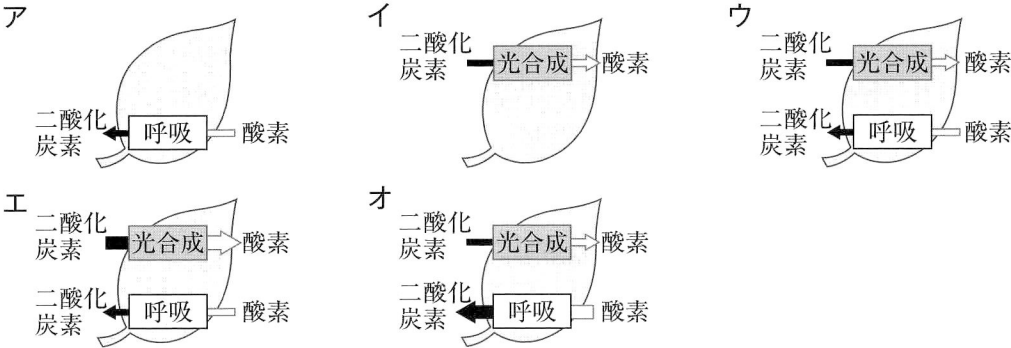
- (1) 下線部について次の各問いに答えなさい。
- ① a 色が変わったあとの小さな粒の色は何色でしたか。色の名称を答えなさい。また、b その粒に含まれ、色が変わった物質は何ですか。名称を答えなさい。
- ② この小さな粒を何といいますか。名称を答えなさい。

〔実験 2〕葉の枚数や大きさが同じくらいの植物の鉢植えを 2 つ用意し、それぞれに透明な袋 A、袋 B をかぶせて袋に息をふきこみ、A と B 中の気体の量が同じになるようにして密封した。図 2 のように、A の植物は明るい場所に置いて十分に光を当て、B の植物は光の当たらない暗い場所に置いた。表は、実験を開始した最初と 3 時間後のそれぞれの袋の中の二酸化炭素の体積の割合をまとめたものである。



袋	最初の二酸化炭素の体積の割合	3 時間後の二酸化炭素の体積の割合
A	1.2%	0.6%
B	1.2%	1.7%

- (2) 袋 A での実験に対する袋 B での実験のように、調べようとする条件を同じにして行う実験を何といいますか。名称を答えなさい。
- (3) 表から、①袋 A の中と②袋 B 中の植物の葉で行われている酸素と二酸化炭素の出入りのようすを表した図はそれぞれどれですか。最も適当なものを次から 1 つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、矢印の太さは出入りする気体の量の大小を表しています。



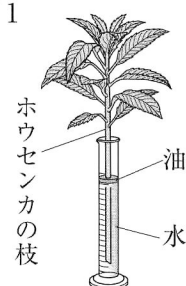
- 2** 植物のからだから水が水蒸気として放出される現象について調べる実験を行いました。これについて、あとの問いに答えなさい。

〔実験 1〕1. ほぼ同じ大きさで、葉の枚数をそろえたホウセンカの枝 A～C を用意した。葉の表側・葉の裏側・葉以外の部分からどれくらい水蒸気が放出されるかを調べるため、表 1 の条件で処理した。

表 1

枝 A	すべての葉の表側にワセリンをぬる。
枝 B	すべての葉の裏側にワセリンをぬる。
枝 C	何もしない。

図 1



2. 同量の水が入ったメスシリンダーを 3 本用意し、枝 A～C を

図 1 のようにそれぞれさして、水面に油をたらした。

3. 明るく風通しのよい場所に 3 時間置き、枝 A～C をさしたそれぞれのメスシリンダーの水の減少量を調べ、表 2 にまとめた。なお、ワセリンには、水や水蒸気を通さないはたらきがある。

表 2

	枝 A	枝 B	枝 C
水の減少量[mL]	3.1	1.3	4.0

- (1) 植物のからだから水が水蒸気として放出される現象を何といいますか。名称を答えなさい。
- (2) 下線部のように水面に油をたらしたのは、水の減少量とホウセンカからの水の放出量を同じにするためです。水面に油をたらすと水の減少量がホウセンカからの水の放出量と等しくなるのはなぜですか。次の文中の空欄にあてはまる形で、10 字以内で答えなさい。

水面からの ことができるから。

- (3) 実験 1 の結果から、葉以外から放出された水の量は何 mL になりますか。最も適当なものを次から 1 つ選び、記号で答えなさい。

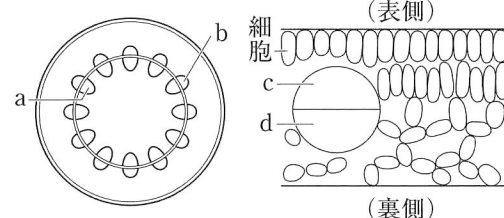
ア 0.4mL イ 0.9mL ウ 1.8mL エ 2.2mL オ 2.7mL

〔実験 2〕 実験 1 の枝 C をさしたメスシリンダーの水に赤インクを溶かし、しばらく置いた後、茎と葉の断面をそれぞれ観察したところ、赤く染まった部分が見られた。

- (4) 赤く染まった部分に通っている管を何といいますか。名称を答えなさい。

- (5) 図 2 は、ホウセンカの茎と葉の断面を、それぞれ模式的に表したものです。赤く染まった部分はどこですか。その組み合わせとして最も適当なものを次から 1 つ選び、記号で答えなさい。

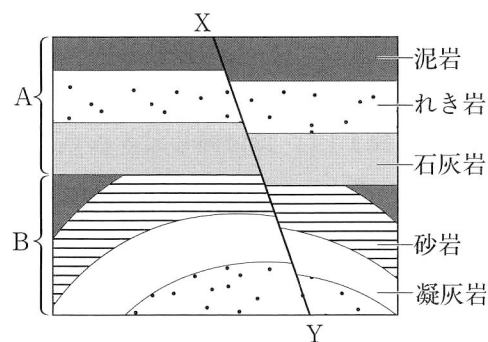
図 2



- ア a と c イ a と d
ウ b と c エ b と d

3 ある露頭の地層を観察しました。図1は、観察した地層のようすを模式的に表したものです。これについて次の問いに答えなさい。

図1



- (1) 泥岩、れき岩、砂岩は、岩石をつくる粒の何の違いによって区別されますか。次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 色 イ 重さ ウ 大きさ エ 形

- (2) 図1の石灰岩の地層にはサンゴの化石が含まれていました。①石灰岩にうすい塩酸をかけたときに発生する気体、②図1の石灰岩の地層が堆積した当時の環境について推定できることは、それぞれ何ですか。次から1つずつ選び、記号で答えなさい。

[①] ア 酸素 イ 二酸化炭素 ウ 水素

[②] ア あたたかくて浅い海だった。 イ あたたかくて深い海だった。

ウ 冷たくて浅い海だった。 エ 冷たくて深い海だった。

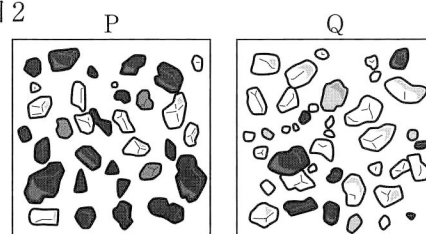
- (3) 図1の地層はどのようにしてできましたか。次のできごとを、起こった順に左から並べ、その順序を記号で答えなさい。

ア X-Yの断層ができた。 イ Aの地層が堆積した。

ウ Bの地層が曲げられた。 エ Bの地層が堆積した。

- (4) 図2のPは、図1の凝灰岩をつくる火山灰を表したもので、火山灰は黒っぽく見えました。また、図2のQは、Pの火山灰と比較するために調べた雲仙普賢岳の火山灰を表したもので、火山灰は白っぽく見えました。これについて次の各問いに答えなさい。

図2



- ① 次の文中の { } にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

火山灰は、もとなるマグマの性質により、色や含まれる鉱物の種類が異なる。図2のPの火山灰とQの火山灰を比較すると、Pの火山灰のほうが_a {ア 有色鉱物 イ 無色鉱物} である_b {ア セキエイやチョウ石 イ キ石やカンラン石} が多い。

- ② 雲仙普賢岳と比べて、図2のPの火山灰を噴出した火山の形と噴火のようすはどのようなものと考えられますか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 火山は盛り上がった形で、噴火は激しい場合が多い。

イ 火山は盛り上がった形で、噴火はおだやかな場合が多い。

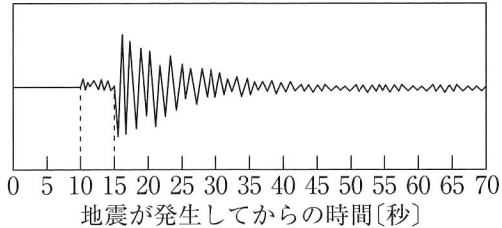
ウ 火山は傾斜のゆるやかな形で、噴火は激しい場合が多い。

エ 火山は傾斜のゆるやかな形で、噴火はおだやかな場合が多い。

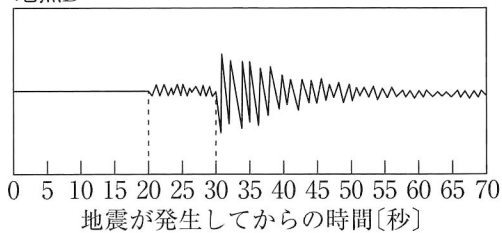
- 4 地下の浅いところで発生した地震のゆれを地点A～Cに設置した地震計で記録しました。図1は、それぞれの地点に設置した地震計の記録で、震源からの距離は次の表のとおりでした。図2は、図1と表をもとに、この地震の震源からの距離と初期微動継続時間との関係をグラフに表したものです。これについて、あとの問いに答えなさい。ただし、地下のつくりはどこも一様であるものとします。

図1

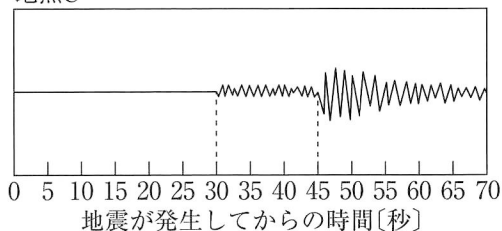
地点A



地点B

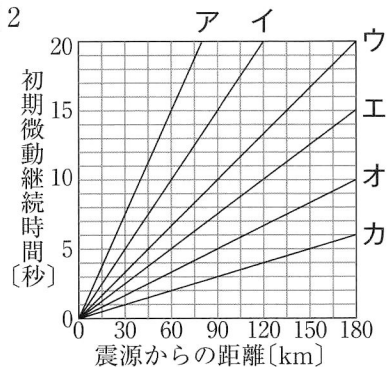


地点C



地点	震源からの距離[km]
A	60
B	120
C	180

図2



- (1) P波による小さなゆれに続く、S波による大きなゆれを何といいますか。名称を答えなさい。
- (2) 図1と表から、この地震でS波が伝わる速さは何km/sですか。
- (3) 図2のア～カのうち、この地震の震源からの距離と初期微動継続時間との関係をグラフに表したものと最も適当なものはどれですか。1つ選び、記号で答えなさい。
- (4) この地震で、地点Dでは初期微動継続時間が12秒でした。地点Dの震源からの距離は何kmと考えられますか。
- (5) この地震と同じ震源で、この地震よりマグニチュードの値が大きな地震が発生した場合、地点Aでの初期微動継続時間の長さとS波によるゆれの大きさはどのように変わると考えられますか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 初期微動継続時間の長さは長くなり、S波によるゆれの大きさは大きくなる。

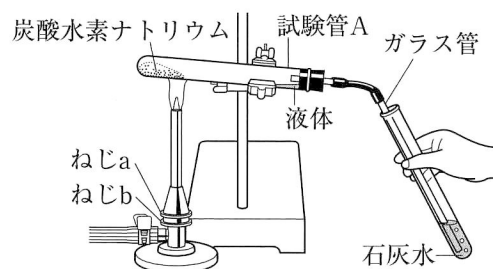
イ 初期微動継続時間の長さは長くなり、S波によるゆれの大きさは変わらない。

ウ 初期微動継続時間の長さは変わらず、S波によるゆれの大きさは大きくなる。

エ 初期微動継続時間の長さは変わらず、S波によるゆれの大きさは変わらない。

- 5** 炭酸水素ナトリウムを加熱したときの変化を調べる実験を行いました。これについて、あとの問いに答えなさい。

〔実験〕 右の図のような装置を用いて、炭酸水素ナトリウムを加熱したところ、気体が発生し、石灰水が白くにごった。さらに、じゅうぶんに加熱した後、加熱をやめた。試験管Aを観察すると、試験管Aの口の内側に無色の液体が見られ、底には白い固体が残っていた。



- (1) 次のア～ウは、この実験で、加熱をやめるときの操作の一部です。ア～ウを安全に注意した正しい順に左から並べ、その順序を記号で答えなさい。

ア ねじaを閉める。

イ ねじbを閉める。

ウ ガラス管を石灰水からぬく。

- (2) 次の文は、実験の下線部の液体について説明したものです。文中の①の{|}にあてはまるものを選び、記号で答えなさい。また、②にあてはまる物質の名称を答えなさい。

試験管Aの口の内側に見られた液体に乾いた塩化コバルト紙をつけると、①{|ア 赤色から青色
イ 青色から赤色|}に変化することから、この液体は②であることがわかる。

- (3) この実験でできた気体と液体は、炭酸水素ナトリウムが分解されてできた物質です。このことから、炭酸水素ナトリウムをつくっていると考えられる元素は何ですか。元素記号ですべて答えなさい。

- (4) 実験の下線部の固体は炭酸ナトリウムです。この炭酸ナトリウムと炭酸水素ナトリウムをそれぞれ同量の水に溶かしてフェノールフタレイン液を加えたときのようなすを比較しました。炭酸ナトリウムについて説明したものとして最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 炭酸水素ナトリウムよりも水に溶けやすく、濃い赤色に変化した。

イ 炭酸水素ナトリウムよりも水に溶けやすく、うすい赤色に変化した。

ウ 炭酸水素ナトリウムよりも水に溶けにくく、濃い赤色に変化した。

エ 炭酸水素ナトリウムよりも水に溶けにくく、うすい赤色に変化した。

- (5) 次のうち、実験で起こった分解の例として最も適当なものはどれですか。1つ選び、記号で答えなさい。

ア 食塩水を蒸発皿に入れて加熱すると、白い固体が残る。

イ エタノールをポリエチレンの袋に入れて熱湯をかけると、袋が大きくふくらむ。

ウ マグネシウムに火をつけると、強い光を出して燃える。

エ 酸化銀を試験管に入れて加熱すると、白い固体ができる。

6 鉄と硫黄の反応を調べる実験を行いました。これについて、あとの問いに答えなさい。

〔実験〕1. 図1のように、鉄粉 7.0g と硫黄の粉末 4.0g を乳ばちに入れてよく混ぜ合わせて、2本の試験管 A、B にそれぞれ入れた。

2. 図2のように、試験管 B に入れた混合物の上部を加熱し、①混合物の上部が赤くなりはじめたところで加熱をやめた。その後も反応が進んで鉄と硫黄は完全に反応し、②黒い物質ができた。

3. 試験管 B の温度が下がるのを待ち、試験管 A、B 内の物質を少量とり、それぞれ別の試験管 C、D に入れた。次に、図3のように、それぞれの試験管にうすい塩酸を加えたところ、どちらの試験管からも気体が発生した。

図 1

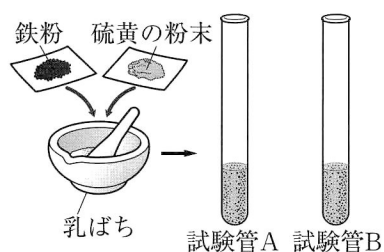
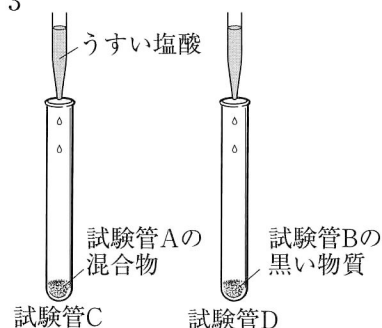


図 2



図 3



(1) 実験の 2 で、下線部①のように加熱をやめても反応が進むのはなぜですか。次から 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア 混合物が分解するから。 イ 鉄が燃焼し、硫黄と反応しやすくなるから。

ウ 水蒸気が発生するから。 エ 鉄と硫黄が反応するとき、熱が発生するから。

(2) 下線部②の黒い物質は何ですか。物質の名称を答えなさい。

(3) 次のうち、下線部②の黒い物質の説明として最も適当なものはどれですか。1 つ選び、記号で答えなさい。

ア 単体で、分子をつくる物質である。 イ 単体で、分子をつくらない物質である。

ウ 化合物で、分子をつくる物質である。 エ 化合物で、分子をつくらない物質である。

(4) 実験の 2 で、混合物を加熱したときに起こった化学変化を化学反応式で表しなさい。

(5) 次のうち、実験の 3 で、試験管 C と D から発生した気体の性質を説明したものとして最も適当なものはどれですか。それぞれ 1 つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 無色無臭で、空気中で火をつけると、音を立てて燃える。

イ 無色無臭で、水に溶けやすく、水溶液は酸性である。

ウ 黄緑色で、刺激臭があり、殺菌作用がある。

エ 無色で、卵の腐ったようなにおいがあり、有毒である。

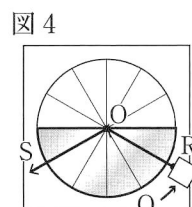
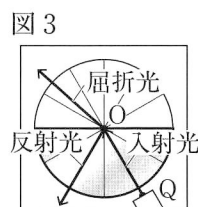
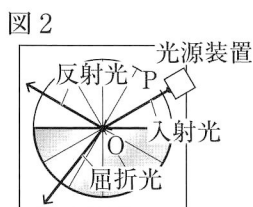
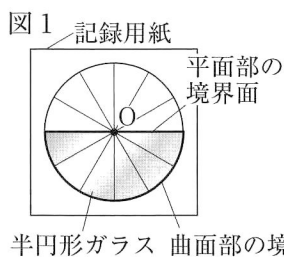
7 光の進み方を調べる実験を行いました。これについて、あとの問いに答えなさい。

〔実験〕1. 図1のように、記録用紙に点Oを中心とした円をかき、点Oのまわりを 30° ごとに区切って、点Oに半円形ガラスの中心を合わせて置いた。

2. 図2のように、Pの位置から点Oに向けて、光源装置から光を入射させ、光の道すじを調べると、反射光(反射した光)と屈折光(屈折した光)が観察できた。

3. 図3のように、Qの位置から点Oに向けて、光を入射させ光の道すじを調べると、反射光と屈折光が観察できた。

4. 図4のように、光源装置を曲面部に沿って、Qの位置から矢印の方向にゆっくりと動かし、QとRの間で、平面部の境界面から出ていく光がなくなり、Rの位置ではすべての光がSの位置に進んだ。

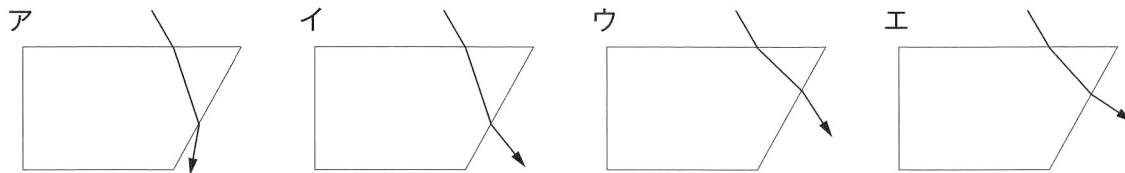


(1) 図2で、反射角の大きさは何度ですか。

(2) 次の文は、図2～図4の光の道すじについて説明したものです。文中の①、②の{ }にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。また、文中の③にあてはまる語句を答えなさい。

図2のように、光が空気中から半円形ガラスの中に進む場合、①{ア 入射角が屈折角
イ 屈折角が入射角}より大きくなる。図3のように、光が半円形ガラスの中から空気中に進む場合、②{ア 入射角が屈折角 イ 屈折角が入射角}より大きくなる。この場合、入射角が一定以上大きくなると、光は屈折せずに図4のように進む現象が起こる。この現象を③という。

(3) 図2、図3で見られた光の屈折から考えると、台形ガラスに光を入射させたとき、光の道すじはどのようなになりますか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。



(4) 次のうち、実験の4で起こった現象と関係の深いものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 水を満たしたビーカーの中央に鉛筆を立てて真横から見ると、鉛筆が実際よりも太く見える。
- イ 茶わんに水を入れていくと、茶わんの底がだんだん浮き上がっていくように見える。
- ウ 虫眼鏡を通して近くのものを見ると、実際よりも大きな像が見える。
- エ 水そうにいる金魚をななめ下から見上げると、水面に金魚がうつって見える。

8 音の性質を調べる実験を行いました。これについて、あとの問いに答えなさい。

〔実験1〕 音が出ている電子ブザーを容器の中に入れて密閉したところ、ブザーの音は外まで聞こえた。容器内の空気を真空ポンプでぬいていくと、ブザーの音はしだいに小さくなり、やがて聞こえなくなった。

〔実験2〕 図1のように、モノコードの弦のXの位置をはじいて出た音をコンピュータにとりこんだところ、コンピュータに図2のような画面が表示された。図2の横軸は時間を表している。

図1

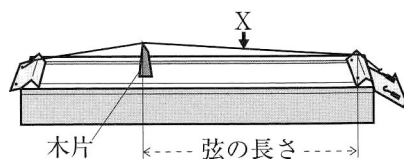
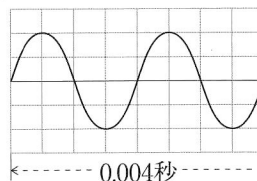
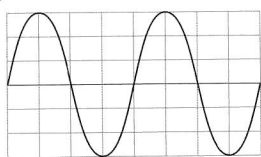


図2

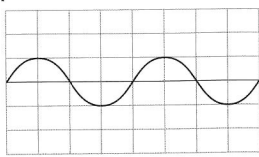


- (1) 音を発しているものを何といいますか。名称を答えなさい。
- (2) 次のうち、実験1の結果からわかることとして最も適当なものはどれですか。1つ選び、記号で答えなさい。
 ア 音は空気が少なくなるほど伝わりやすい。
 イ 音は真空中では伝わらない。
 ウ 音は空気が移動することで伝わる。
 エ 音を出している物体は振動している。
- (3) 実験2のモノコードの弦を、Xの位置で実験2より強くはじいたときのコンピュータに表示された画面として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。ただし、次のア～エの横軸は時間、縦軸は振幅を表し、図2と1目盛りの大きさは同じです。

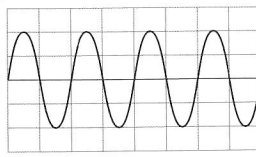
ア



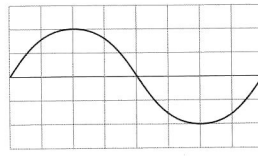
イ



ウ



エ



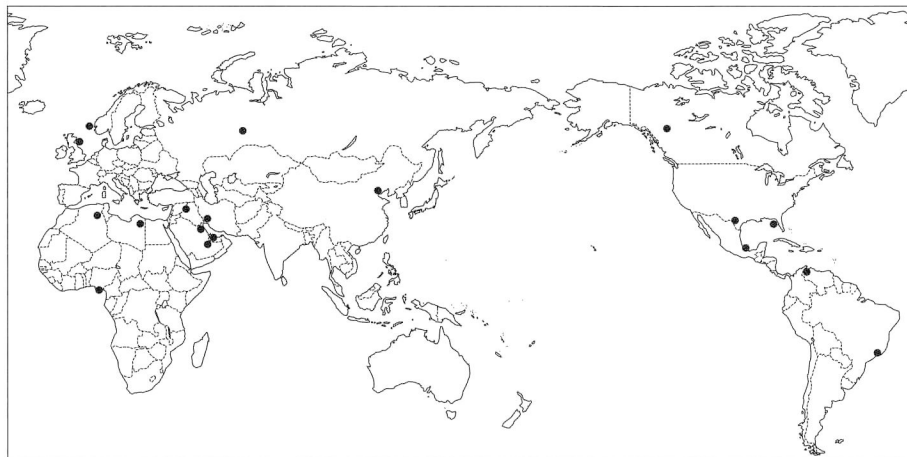
- (4) 実験2のとき、モノコードの弦の音の振動数は何Hzか。
- (5) 実験2で出た音より低い音を出す方法として適当なものを次からすべて選び、記号で答えなさい。
 ア 弦の長さはそのまま、弦の張りを実験2より強くしてXの位置をはじく。
 イ 弦の長さはそのまま、弦の張りを実験2より弱くしてXの位置をはじく。
 ウ 弦の張りの強さはそのまま、弦の長さを実験2より長くしてXの位置をはじく。
 エ 弦の張りの強さはそのまま、弦の長さを実験2より短くしてXの位置をはじく。

(これで問題は終わりです)

1 次の各問いに答えなさい。

(1) 資源・エネルギーについて、次の問いに答えなさい。

- ① 次の略地図中の●は、ある資源のおもな産地を示しています。この資源として最も適当なものをあとから1つ選び、記号で答えなさい。



ア 原油 イ 石炭 ウ 銅鉱 エ 鉄鉱石

- ② 次の文章中の()にあてはまる最も適当な語句を漢字4字で答えなさい。

将来の世代のことを考えて、限りある資源を有効に活用し、環境保全と経済発展を両立させる社会の実現が求められている。このような社会を()な社会という。

- (2) 次のⅠ、Ⅱの文は、日本の稲作^{いなさく}についてまとめようとしたものです。Ⅰ、Ⅱの文の内容の正誤の組み合わせとして最も適当なものをあとから1つ選び、記号で答えなさい。

Ⅰ 日本では、扇状地^{せんじょうち}など斜面が広がる地域で稲作がさかんに行われている。

Ⅱ 全国を7つの地方に区分したとき、米の生産量が最も多い地方は九州地方である。

ア Ⅰ＝正、Ⅱ＝正 イ Ⅰ＝正、Ⅱ＝誤 ウ Ⅰ＝誤、Ⅱ＝正 エ Ⅰ＝誤、Ⅱ＝誤

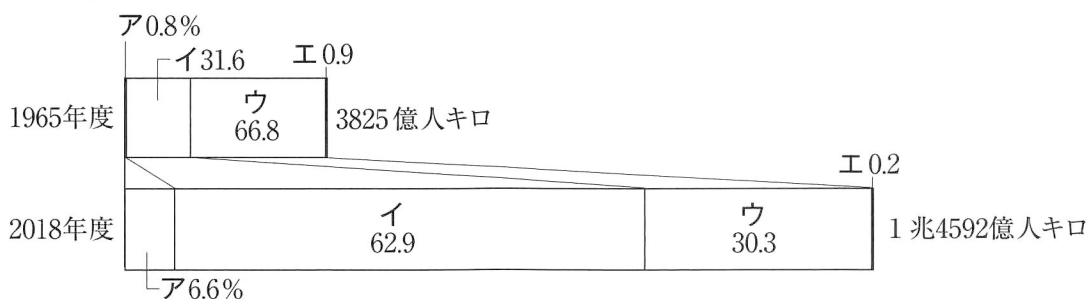
- (3) 日本の工業は、原料を輸入し、それをもとに製造した製品を輸出する貿易を通して発展してきました。このような貿易を何といいますか。解答欄^{らん}にあうように答えなさい。

- (4) 日本の内陸部では、高速道路のインターチェンジ付近などに、工場を計画的に集めた地区がつくられ、これらの地区で組み立て型の工業がさかんに行われています。このような地区を何といいますか。漢字4字で答えなさい。

- (5) 現在、日本で最も出荷額が多い工業地帯と、その工業地帯の出荷額に占める割合が最も高い工業の組み合わせを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 工業地帯＝京浜工業地帯^{けいひん}、工業＝機械工業 イ 工業地帯＝京浜工業地帯、工業＝化学工業
 ウ 工業地帯＝中京工業地帯^{ちゅうきやう}、工業＝機械工業 エ 工業地帯＝中京工業地帯、工業＝化学工業

- (6) 次のグラフは、国内の旅客輸送量の変化を表したもので、グラフ中のア～エには鉄道、自動車、航空機、船による輸送のいずれかが共通してあてはまります。鉄道輸送があてはまるものを1つ選び、記号で答えなさい。



・人キロは、旅客の人数に移動距離をかけた、旅客輸送量を表す単位。

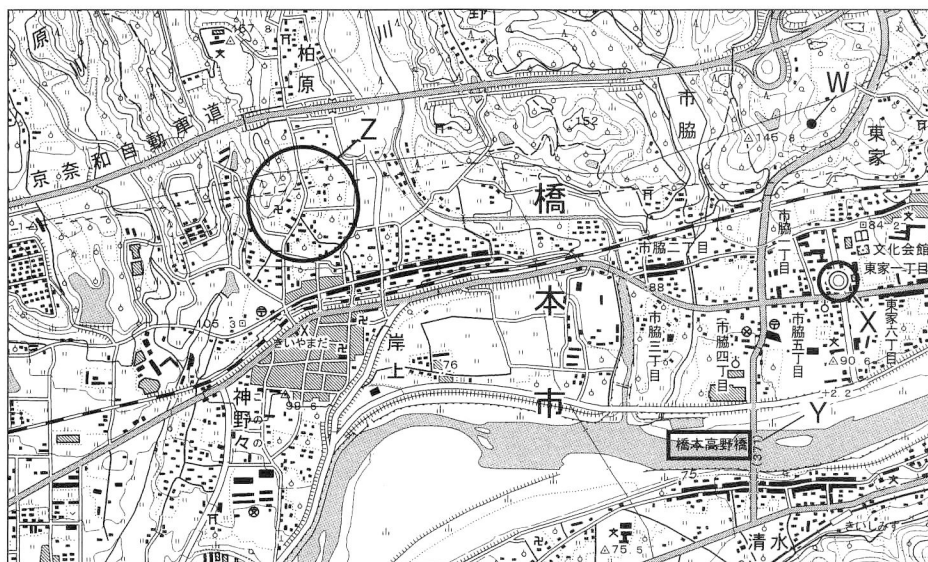
・四捨五入の関係で、内訳の合計は100%にならない。

(2021年版「日本国勢図会」などより)

- (7) 日本のさまざまな産業は、第一次産業、第二次産業、第三次産業に分類されることがあります。これについて、第三次産業にあてはまる産業として不適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 漁業 イ 小売業 ウ ^{きんゆう}金融業 エ サービス業

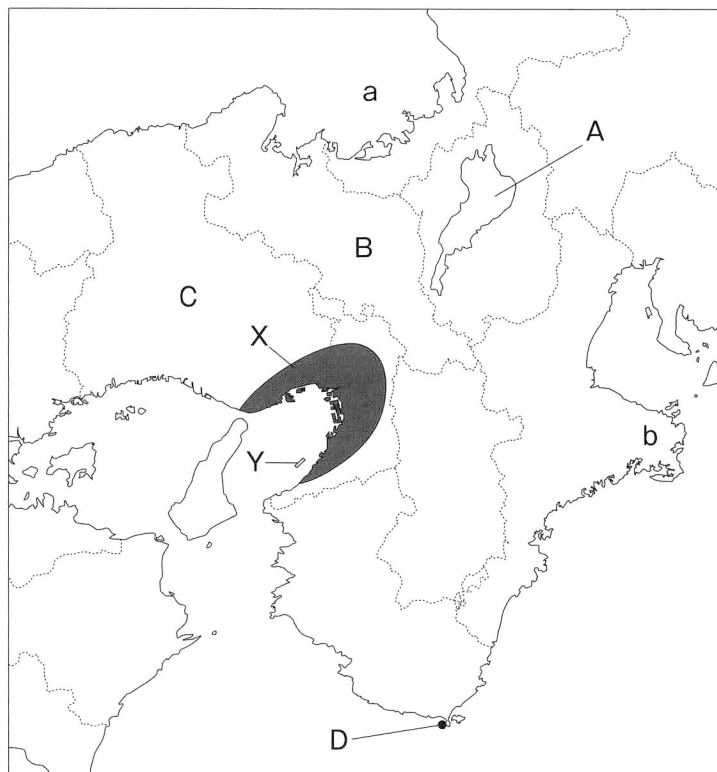
- (8) 縮尺が25000分の1である次の地形図から読み取れることについて述べた文として最も適切なものをあとから1つ選び、記号で答えなさい。



(1:25000)

- ア Wで示した地点の標高は150mをこえている。
 イ Xで示した市役所から見て、Yで示した橋本高野橋は、およそ南東の方位に位置している。
 ウ Zで示した範囲には、畑や広葉樹林の土地利用が見られる。
 エ この地形図上で8cmで表される直線の実際の直線距離は2kmである。

2 次の略地図を見て、あとの問いに答えなさい。



(1) 地図中にaで示した湾とbで示した半島の組み合わせとして最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア a = 若狭湾, b = 志摩半島 イ a = 伊勢湾, b = 志摩半島
ウ a = 若狭湾, b = 大隅半島 エ a = 伊勢湾, b = 大隅半島

(2) 地図中にAで示した湖について、次の問いに答えなさい。

- ① この湖の名を解答欄にあうように答えなさい。
② この湖では、1970年代以降、赤潮と呼ばれる環境問題が発生しました。その原因として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 工場からの排煙 イ 外来魚の流入
ウ 地下水のくみ上げすぎ エ りんをふくむ洗剤の使用

(3) 次のⅠ、Ⅱの文は、地図中にBで示した都道府県についてまとめようとしたものです。Ⅰ、Ⅱの文の内容の正誤の組み合わせとして最も適当なものをあとから1つ選び、記号で答えなさい。

- Ⅰ 伝統的な景観を守るために、建物の高さやデザインを制限される地域がある。
Ⅱ この都道府県の中心地は、江戸時代には「天下の台所」と呼ばれ、古くから商業が発展してきた。
ア Ⅰ = 正, Ⅱ = 正 イ Ⅰ = 正, Ⅱ = 誤 ウ Ⅰ = 誤, Ⅱ = 正 エ Ⅰ = 誤, Ⅱ = 誤

(4) 地図中にCで示した都道府県について述べた文として不適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本の標準時の基準となる東経135度の経線が通っている。
- イ 都道府県庁所在地の港湾部には、ポートアイランドなどの人工島がある。
- ウ この都道府県に属する淡路島は、明石海峡大橋によって本州と結ばれている。
- エ みかんの栽培がさかんであり、その収穫量は全国有数である。

(5) 次の文章中の()に共通してあてはまる語句を漢字2字で答えなさい。

製造業では、資本金が3億円以下、または従業員数が300人以下の企業を()企業という。地図中にXで示した阪神工業地帯では、このような企業が経営する()工場が多く見られる。

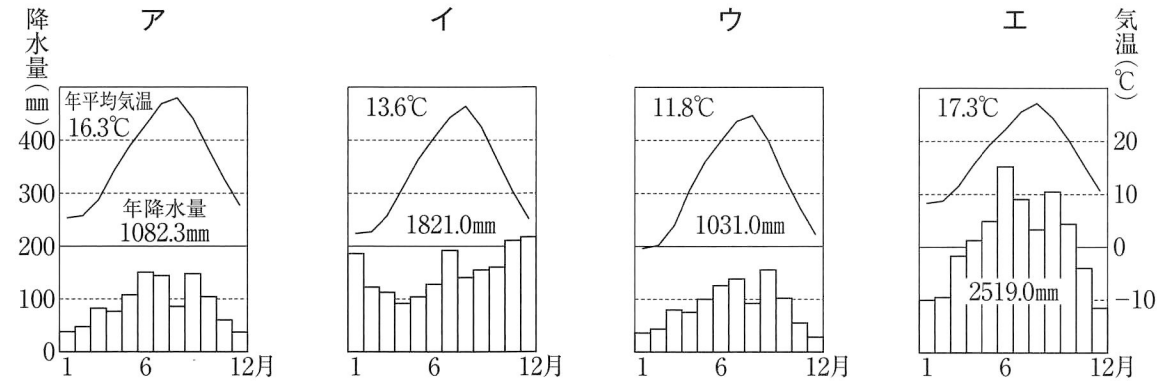
(6) 右の表は、地図中にYで示した貿易港の貿易額上位3品目を表しています。表中の()に共通してあてはまる品目として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

	輸出品目	輸入品目
1 位	()	医薬品
2 位	科学光学機器	通信機
3 位	電気回路用品	()

(2021年版「日本国勢図会」より)

- ア 原油(石油) イ 自動車
- ウ 集積回路 エ 鉄鋼

(7) 地図中にDで示した地点の気温と降水量を表しているグラフを次から1つ選び、記号で答えなさい。



(2021年版「理科年表」より)

(8) 右の表は、近畿地方の大阪府と奈良県および北海道の昼夜間人口比率(夜間人口100人あたりの昼間人口)をまとめたものです。大阪府と奈良県にあてはまるものを表中の1～3から選んだときの組み合わせとして最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

道府県	昼夜間人口比率
1	90.0
2	99.9
3	104.4

(2021年版「県勢」より)

- ア 大阪府 = 1, 奈良県 = 2 イ 大阪府 = 1, 奈良県 = 3
- ウ 大阪府 = 2, 奈良県 = 1 エ 大阪府 = 2, 奈良県 = 3
- オ 大阪府 = 3, 奈良県 = 1 カ 大阪府 = 3, 奈良県 = 2

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

あ徳川家康は、1603年に朝廷から征夷大將軍に任じられ、い江戸幕府を開いた。江戸幕府第3代將軍である（う）の時代には、参勤交代が制度として定められるなど、幕府の支配の基礎が固められた。この時代の人々は、え武士、百姓、町人といった身分に大きく分けられていた。

江戸幕府ははじめ、キリスト教の布教や信仰を黙認し、おおもに西日本の大名や商人に海外渡航を許可して貿易を奨励した。しかし、かキリシタンが国内で急増したことなどから、江戸幕府は鎖国の方針を強め、17世紀半ば以降、貿易は場所を長崎に限り、（き）と中国のみが許可されることとなった。一方で、く朝鮮などとの交流の窓口は開かれていた。

- (1) 下線あについて、次の文章中の（X）、（Y）にあてはまる語句の組み合わせとして最も適当なものをあとから1つ選び、記号で答えなさい。

1600年におこった関ヶ原の戦いにおいて、徳川家康を中心とする東軍は（X）を中心とする西軍をやぶった。また、1615年、徳川家康は大阪の陣で（Y）氏を滅ぼし、徳川氏の権力を固めた。

- ア X = 石田三成, Y = 北条 イ X = 石田三成, Y = 豊臣
ウ X = 明智光秀, Y = 北条 エ X = 明智光秀, Y = 豊臣

- (2) 下線いについて、次の問いに答えなさい。

- ① 次の文章は、江戸幕府の組織に関して述べたものです。（ ）に共通してあてはまる役職を漢字2字で答えなさい。

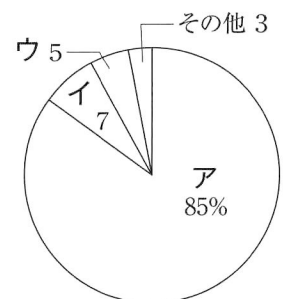
この幕府では、將軍のもとに（ ）が常時複数置かれ、若年寄の補佐を受けて政治の運営にあたった。また、（ ）のもとに置かれた勘定奉行が幕府の財政や幕領の監督にあたった。

- ② 江戸幕府について述べた文として不適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

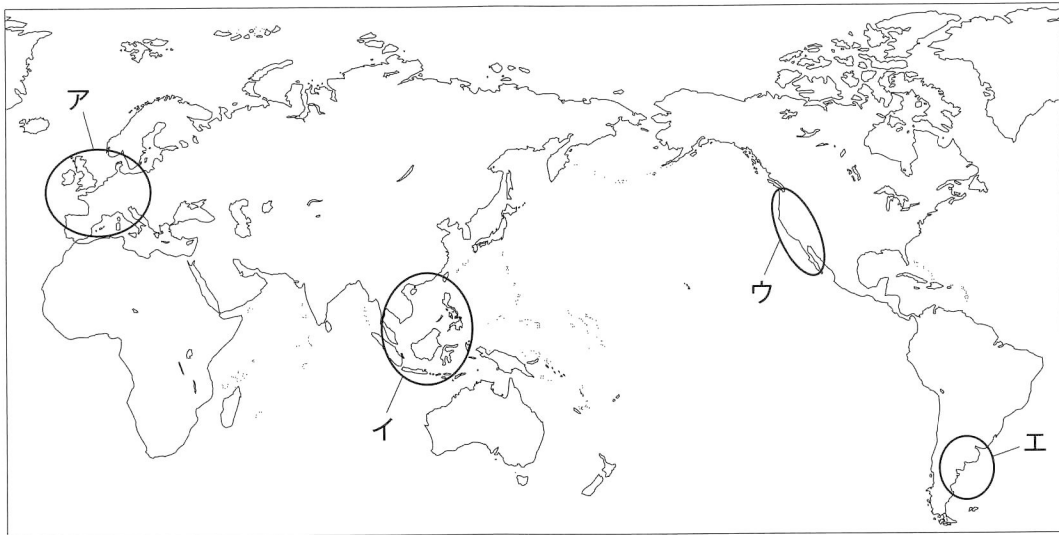
- ア 幕府の直轄地と幕府の家臣の領地を合わせると、全国の石高の約4分の1を占めた。
イ 幕府は、全国の関所を廃止して自由な交通を認め、産業の発達をうながした。
ウ 幕府は、外様大名を、おもに江戸から遠く離れた地域に配置した。
エ 幕府は、各地の鉱山を直接支配し、貨幣をつくる権利を独占した。

- (3) （う）にあてはまる人物の姓名を答えなさい。

- (4) 下線えについて、右のグラフは、江戸時代の身分別の人口割合を表しており、グラフ中のア～ウには、町人、百姓、武士のいずれかがあてはまります。百姓があてはまるものを1つ選び、記号で答えなさい。



- (5) 下線おについて、江戸時代初期に、海外渡航を許可された大名や商人が渡航して貿易を行った地域として最も適当なものを次の略地図中から1つ選び、記号で答えなさい。



- (6) 下線かの農民らが、17世紀前半におこした一揆として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア しょうちやう 正長の土一揆 イ やましろ 山城国一揆 ウ しまばら あまくさ 島原・天草一揆 エ か が いっこう 加賀の一向一揆

- (7) (き)にあてはまるヨーロッパの国として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア イギリス イ ポルトガル ウ スペイン エ オランダ

- (8) 下線くについて、鎖国の政策が実施されていた時期に朝鮮との交流の窓口となっていた藩として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア つしま 対馬藩 イ さつ ま 薩摩藩 ウ み と 水戸藩 エ まつまえ 松前藩

4 次の略年表を見て、あとの問いに答えなさい。

年代	できごと
1680年	^{とくがわつなよし} あ <u>徳川綱吉が征夷大將軍となる。</u> ア
1716年	^{よしむね} い <u>徳川吉宗が政治改革を始める。</u> イ
1787年	^{まつだいらさだのぶ} う <u>松平定信が政治改革を始める。</u> ウ
1837年	^{えど} 江戸幕府の元役人である(え)が大阪で反乱をおこす。 エ
1841年	^{みずのただくに} お <u>水野忠邦が政治改革を始める。</u>

- (1) 下線あについて、次のⅠ、Ⅱの文は徳川綱吉に関してまとめようとしたものです。Ⅰ、Ⅱの文の内容の正誤の組み合わせとして最も適当なものをあとから1つ選び、記号で答えなさい。

Ⅰ キリスト教に関係しない、漢文に^{ほんやく}翻訳されたヨーロッパの書物の輸入を認めた。

Ⅱ 極端な動物愛護政策である^{きょくたん}生類憐みの^{しょうるいあわれ}令を定めた。

ア Ⅰ = 正, Ⅱ = 正 イ Ⅰ = 正, Ⅱ = 誤 ウ Ⅰ = 誤, Ⅱ = 正 エ Ⅰ = 誤, Ⅱ = 誤

- (2) 下線いについて、徳川吉宗が^{くじかたおさだめがき}公事方御定書を定めた目的として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 新田開発を進めるため。 イ キリスト教の^{てつてい}禁止を徹底するため。

ウ 裁判の基準を示すため。 エ 荒れた農村を立て直すため。

- (3) 下線うについて、次の文は、松平定信が政治改革を行ったところにおきたできごとに関して述べたものです。()にあてはまる地域として最も適当なものをあとから1つ選び、記号で答えなさい。

1792年にラクスマンが()に^{ひょうりゅう}来航し、^{だいこくやこうだゆう}漂流民の大黒屋光太夫を送りとどけ、幕府に通商を求めた。

ア 鹿児島 イ 長崎 ウ 新潟 エ ^{ねむろ}根室

- (4) (え)にあてはまる人物として最も適当なものを次から1人選び、記号で答えなさい。

ア ^{おおしおへいはちろう}大塩平八郎 イ ^{たかのちやうえい}高野長英 ウ ^{わたなべかざん}渡辺華山 エ ^{まみやりんぞう}間宮林蔵

- (5) 下線おについて、この政治改革を、当時の年号(元号)に由来して何といいますか。解答欄^{らん}にどのように答えなさい。

- (6) 年表で示した時期のうち、17世紀末から18世紀初めにかけて、大阪や京都を中心に、町人らを担い手とする元禄文化が栄えました。これについて、次の問いに答えなさい。

- ① 元禄文化が栄えたころの大阪や京都について述べた次の文章中の()に共通してあてはまる語句を漢字2字で答えなさい。

このころ、京都に天皇の御所^{ごしよ}があったことから、大阪や京都はまとめて()と呼ばれた。現在でも()落語^{かつやく}などの言葉に、当時の呼び方のなごりが見られる。

- ② 元禄文化が栄えた時期に活躍した井原西鶴^{い ほんさいかく}について述べた文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 「曾根崎心中」など人形浄瑠璃^{にんぎょうじゅうり}の脚本^{きゃくほん}を多く書いた。

イ 浮世草子^{うきよぞうし}と呼ばれる小説を多く著した。

ウ 『奥の細道』などを著し、俳諧^{はいかい}(俳句)を芸術に高めた。

エ 「唐獅子図屏風」などの屏風絵やふすま絵をえがいた。

- (7) 江戸時代には、それまでの時代に比べて農業生産力が向上しました。このことの要因の1つとして最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 同じ田畑で米と麦を交互につくる二毛作が始められたこと。

イ 備中ぐわや千歯こき^{せんば}といった農具が普及したこと。

ウ 農作業に牛や馬が利用されるようになったこと。

エ 惣^{そう}(惣村^{そうそん})と呼ばれる自治組織がつくられるようになったこと。

- (8) 田沼意次^{た ぬまおきつぐ}が印旛沼^{いん ぼ ぬま}の干拓^{かんたく}を始めた時期として最も適当なものを年表中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

(これで問題は終わりです)